

森下仁丹株式会社

「仁丹」の老舗が

新機軸のカプセル事業へ

- 海外発注可
- 企画力自信有
- オンライン技術
- 試作可小ロット
- 量産対応



老舗の伝統を革新力に変える

業務内容

「仁丹」で培った技術力で新分野へ積極的に挑戦

銀粒の「仁丹」で知られる老舗企業が、新たな一歩を踏み出している。その柱が、健康食品を始めとするヘルスケア事業と、新機軸となるシームレスカプセルの製剤開発事業だ。

健康食品部門では、選択と集中を進めることで、カプセル技術を駆使した主力商品「ビフィーナ」シリーズの売り上げが好調に推移。国内では2社目となるNSF認証工場として、徹底した品質管理体制のもとで質の高い商品を生み出し続けている。

また、メデイケアブランドとして新たに充実させたOTC医薬品も高い成果を上げている。

独自技術

継ぎ目なく液体を包む
オンリーワン技術を開発

今後、同社の成長の軸となるであろう分野が、銀粒仁丹の製造から派生したシームレス（継ぎ目がない）カプセル事業だ。カプセルの中に液体を入れられないかという試行錯誤から生まれたこの技術。2重になったノズルの内側と外側に異なる液体を入れ、冷やした油に滴下すると界面張力が働き、外側の液（皮膜液）が継ぎ目なく内側の液（内容液）を包み込むのだ。

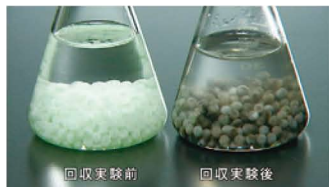
同社ではこの技術を応用し3層・4層のカプセルも開発。これにより、従来は不可能だった親水性の液体も、カプセルに内包可能になった。

この技術は、生きたビフィズス菌を腸まで届ける「ビフィーナ」等でも採用されている。

商品例

技術開発を重ねて
バイオ分野での応用例も

シームレスカプセル分野の最新世代が「バイオカプセル」だ。合成高分子樹脂を皮膜としてカプセルを形成し、内部で微生物を培養できるようにしたこと、技術応用の可能性が飛躍的に向上。研究中の応用例が「レアメタルの回収」だ。微生物入りカプセルにより、産業廃液中のイオン化したレアメタルを還元して回収する仕組みである。また巣の中で卵を舐めて世話をするシロアリの習性を利用して、駆除剤入りの疑似卵（カプセル）で白アリ駆除を行う画期的な方法も生み出した。このオンリーワン技術には企業からの問い合わせも多いという。



微生物でレアメタルを回収

今後の展望

連携先の企業と共に
カプセルの可能性を探る

『仁丹ブランド』にあぐらをかくず、常に社会に必要とされるものを生み出したい」と話す駒村社長。

今後はまず、セルフメデイケーションの重要性の高まりを受けてOTC医薬品や健康食品の販売に重点を置くという。同時にカプセル事業でも提携企業を常に模索しながら新たな可能性を広げる意向だ。一時は売り上げの低迷を経験した同社だが、駒村社長のもとで充実の第2創業期を迎えつつある。

COMPANY PROFILE

森下仁丹株式会社

ISO 14001

当社の歴史

創業120周年となる当社は、100年以上にわたり、「銀粒仁丹」や「仁丹体温計」でご愛顧いただきましたが、大きな転換期に差し掛かっています。このような状況だからこそ、「社会に求められる存在」であり続けることが肝要だと考えます。健康食品のBtoC分野、シームレスカプセル事業のBtoB分野においても、この信念を忘れずに努力を続けてまいります。

「常に社会に必要とされる企業であれ」。
この言葉を忘れずに歩んでいきたい。

代表取締役社長 駒村 純一さん



■主な事業内容

医薬品・医薬部外品・医療機器・食品等の製造・販売、シームレスカプセルの製剤開発・製造受託等

■主な取引先（納入先）

ドラッグストア・薬局・薬店、医薬品メーカー、食品メーカー等

住所 / 〒540-8566

大阪市中央区玉造
1-2-40

TEL / 06-6761-1131

創業 / 明治26年2月

設立 / 昭和11年11月

資本金 / 35億3,740万円

従業員 / 250名

<http://www.jintan.co.jp/>